



立教大学

「立教大学図書館年報」からたどる ラーニングアドバイザー

学修支援・学生協働とラーニングアドバイザー業務を
教職員の視点から

2017.3.1 立教大学図書館

■かつての立教大学図書館

「情報リテラシー教育」を 「専任教員」が行う

→学修支援・学生協働の概念は無し

図書館職員が一生懸命だったのは...

- ガイダンスを如何に工夫するか
- 授業の中で如何に情報検索方法を教えるか
- 利用者のために如何に高度なレファレンス技術と知識を獲得するか

■図書館員（専任職員）の役割

「本館にあっては、利用者教育という語でとらえられる事柄が業務の柱になるのではないのでしょうか。」

「1, 2年生に図書館に親しむ方法を教えなければなりません。」

立教大学図書館年報2001/2002

■2002年度:「図書館ガイダンス検討WG」発足

「2003年度末からはこの成果が現れはじめ、多数の教員から情報検索関連の授業支援の要請がきており」

立教大学図書館年報2003/2004

「授業内情報検索講習を教育支援の大きな柱と考え」

立教大学図書館年報2005/2006

■2007～現在の立教大学図書館

**「学修(学習)支援」を
「学生協働」で行う**

→ ように遷移していく

背景には

- 図書館を巡る環境の変化

■2007年度:「新中央図書館構想」

「ラーニング・コモンズの設置」「学習・教育研究支援」
を謳う →まだ学生協働への言及はなしも、端緒となる

■ 2008年度秋 アメリカ図書館視察

ワシントン大学／ラトガース大学／プリンストン大学／マウント・ホリヨーク大学／マサチューセッツ大学／バルークカレッジ／ニューヨーク大学／コロンビア大学

「視察を行った大学には、すべての図書館にライティングサポートの機能がありました。」

- 小坏守.2009. 米国大学図書館における学習支援[米国大学図書館視察報告](立教大学における学習支援と図書館),大学教育開発研究シリーズ No.9; 15-29

■新中央図書館構想の4つの柱

- ① 「図書館資料」から「コンピュータ」へ
- ② 「個人学習」から「グループワーク」へ
- ③ 「利用」から「滞在」へ

④「閲覧」から「**学習支援**」へ

小坏守.2009. 米国大学図書館における学習支援[米国大学図書館視察報告](立教大学における学習支援と図書館),大学教育開発研究シリーズ No.9; 15-29

立教大学図書館⑤

■2008年度まで「閲覧課」→2009年度から「利用支援課」

「昨年度(※)の取り組みとして特に強調しておきたいことの一つに図書館本館におけるラーニング・アドバイザーの導入があります。博士後期課程の大学院生をアドバイザーとして常駐させ、図書館を活用した研究資料の収集方法を中心に学生の相談に応答し、ときには、レポートのテーマ設定や書き方まで個別に指導するこの制度は、日本国内の大学ではまだ実践例が少なく先駆的な活動となっています。まだまだ広く認知されているとはいいい難いですし、レポート・論文作成のサポートなど、全学的な学習支援と接続していくための課題も数多くありますが、この制度は図書や雑誌の収集・貸出・保存期間という受動的な図書館イメージを打ち破り、学生の学習・研究活動を多面的にサポートする能動的な図書館を立ち上げていくための重要なステップであり…」

※2008年度

大学図書館の整備について(審議のまとめ)

ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー【概要】

(平成22年12月 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会)

(3) 大学図書館に求められる機能・役割

① 学習支援及び教育活動への直接の関与

ア. 学習支援

○ 学生が自ら学ぶ学習の重要性が再認識され、ラーニング・コモンズ、大学図書館職員等によるレファレンスサービス、学習支援が重要。

学修環境充実のための学術情報基盤の整備について(審議まとめ)【概要】(平成25年8月 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会)

2. 学修環境の充実に資する学術情報基盤整備の在り方

i) コンテンツ、ii) 学習空間...

iii) 人的支援

○ 学生による主体的学習の効果を高めるためには、ラーニングコモンズにおいて、空間等の環境整備に加えて、大学院生、図書館員や教員等による学生を支援する体制の構築が不可欠である。学生同士が支援し合うピアチュータリングも、質保証を図りつつ促進することが望ましい。

「学修」と「学習」?

立教大学図書館⑥

「特に、ラーニングアドバイザー制度は利用者からも好評で、学修支援という観点から見て一定の役割を果たすことができた。利用者の絶対数が期待ほど伸びなかったこと、まだ広く認知されているに至っていないことなど課題も多いが、今後は、学生が学生の助言者となってお互いを成長させていくピア・サポートの一環として位置づけ、学部・研究科の授業と連携しながら論文・レポートの内容に踏み込んだ指導を行うライティングセンターに発展させたいと考えている」

立教大学図書館年報2010/2011

ラーニングアドバイザー(ピアサポート)は
頼りになる！

立教大学図書館⑦文科省③

2011年12月文科省研究振興局情報課

「大学図書館における先進的な取り組みの実践例

—大学の学習・教育・研究活動の質的充実と向上のために—

■立教大学 「ラーニングアドバイザー制度 —大学院生によるピア・サポートの取り組み」

■2012年秋 池袋図書館開館

→利用支援課内で「学修支援」担当と呼称

立教大学図書館⑧

■そして現在...

立教大学図書館ラーニングアドバイザー

- 大学院博士課程後期課程の学生が担当
- 授業期間平日12:00～17:00まで常駐
- 池袋図書館2階閲覧エリア・新座図書館2階ラーニングcommonsエリアにラーニングアドバイザー独自のカウンターを有する

→並列してPCヘルプデスクがあり「PCヘルプ」(学部学生)が常駐しており、館内IT系ヘルプと業務が切り分けられている

ex.館内PCの管理、館内プリンタの管理(エラー対応・紙補充等)

おまけ よしなしごと①

- 大学のミッションや学部学科の3つのポリシーに該当するケースも多いのでは
- 図書館の、ひいては大学の特徴として宣伝効果を有する(活動が[大学案内](#)やwebに掲載されているケースも多いのでは)
 - 大学にどんどん成果をアピールし広報してもらおう
 - 活動が認知され、大学の目玉になる
 - 活動のための予算が獲得できる
 - 更に質の良いサービスが提供できる

おまけ② よしなしごと

- ネット時代のピアサポート
→「非来館型」ピアサポートや図書館サポート？
あり得るのだろうか？
- 冊子「Master of Writing/Master of Presentation」
→プレゼンテーションのサポート？ノウハウ？



立教大学

The founding spirit of Rikkyo University is steeped in Christian values of providing a liberal education that nurtures every aspect of the individual. These values continue to be our guiding principle.